



# 静岡実験動物研究会

## ニュースレター

2024.6.12 No.23

### CONTENTS

会長挨拶	.....	1
企画委員会からのお知らせ	.....	2
令和6年度大会開催にあたって	.....	5
第51回研究発表会演題募集	.....	7
会報掲載原稿提出のお願い	.....	8

研究会に関するご意見、ご要望、お問い合わせは下記まで

**静岡実験動物研究会** 事務局 佐野 雄一郎

〒426-8646 静岡県藤枝市源助 301

科研製薬株式会社

TEL: 054-635-9217 FAX: 054-635-2351

E-mail: sano\_yuichiro@kaken.co.jp

## ■ 会長挨拶

静岡実験動物研究会 会長  
静岡県立大学薬学部薬理学分野教授  
石川 智久

会員各位におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨今、AI（人工知能）という文字を目にする機会が劇的に増えました。ありとあらゆる分野にAI技術が活用され、今や家電などにも当たり前のようにAIが搭載されています。ライフサイエンス研究の分野では、AI活用により課題解決の糸口を見出すという手法が多用されるようになり、研究の進展が加速化していると感じます。逆にAIをうまく活用できないと、遅れをとるような危機感を感じます。医薬品開発においても、創薬ターゲット探索や仮説生成といった創薬の初期段階において、AIの活用による効率化、コストの低減化等が積極的に図られています。非臨床試験での動物実験も、動物愛護からの観点も相まって、AIの積極的導入が今後進んでいくと考えられます。AI活用が必然という時代に備えて、その基本的な仕組みを理解しておくことは不可欠です。「AIはブラックボックス」と言われるように、AIが答えを導き出す過程は不透明ですが、あくまでAIは蓄積した様々なデータを基にして答えを導き出しますので、再現性のあるデータを蓄積していくことがAIの信頼性向上につながります。動物実験データの再現性を上げるためには、実験動物の飼養状態が大きな要因となることは自明であり、益々その重要性が見直されてくると思われます。

今年度は図らずも、本研究会企画委員会が「環境エンリッチメント」を題材としたフォーラムを企画して下さいました。各施設での環境エンリッチメントの工夫や取り組み、課題などをご紹介していただく予定です。動物愛護という観点からだけでなく、再現性のあるデータの蓄積という点からも、環境エンリッチメントの重要性を捉え直す機会としていただければと思います。フォーラムは、8月23日（金）に静岡県立大学で開催されます。ぜひ、積極的にご参加いただき、問題を共有する機会にさせていただけたらと思います。また、10月25日（金）には、（株）安評センターの竹原広先生のご尽力により、第53回総会および第51回研究発表会がクリエート浜松にて開催されます。静岡実験動物研究会の活性化と更なる発展は、研究発表会で多くの演題が発表され、活発な議論が行われることにかかっております。多くの皆様のご参加をお願い致します。

## ■ 企画委員からのお知らせ

企画担当幹事

金子（静岡県立大学）、加藤（日本エスエルシー）、藤枝（興和）

今年度の夏期企画「静岡実験動物フォーラム 2024」では、静岡実験動物研究会の所属会員、企業の皆様方の「環境エンリッチメントの工夫や取り組み、課題」について最近の話題を中心にご講演を頂きます。会員皆様の日夜の研究、業務における一助となれば幸いです。多数の皆様の参加をお待ちしております。

### 令和6年度夏期企画

#### ・静岡実験動物フォーラム 2024 環境エンリッチメント：今とこれから

日時：2024年8月23日（金）13:00～17:00

会場：静岡県立大学 看護学部棟 4階 13411 講義室

企業展示 看護学部棟 4階 13413,13414 講義室

駐車場はご利用できませんので、公共交通機関でのお越しをお願い申し上げます。（静岡市駿河区谷田 52-1；JR 草薙駅から徒歩 10 分）



タイムスケジュール（演題名は変更する可能性があります）

- 12:30～ 受付開始
- 13:00～13:05 開会のご挨拶
- 13:05～13:20 渡邊妙子（ボゾリサーチセンター 函南研究所）  
ボゾリサーチセンターにおける環境エンリッチメント
- 13:20～13:35 奥村浩（日本クレア 技術部）  
日本クレアにおけるげっ歯類の環境エンリッチメント
- 13:35～13:50 竹原広（安評センター 研究本部 安全性小動物試験室）  
安評センターにおける環境エンリッチメントの取り組み
- 13:50～14:20 松本幸大（EP トレーディング）  
繁殖をサポートするエンリッチメント材のご紹介
- 14:20～14:50 堀米永一（PMI Nutrition international）  
エンリッチメント飼料の紹介
- 14:50～15:00 企業アピールタイム①：日本クレア
- 15:00～15:10 企業アピールタイム②：夏目製作所
- 15:10～15:20 企業アピールタイム③：EP トレーディング
- 15:20～15:50 休憩：企業展示
- 15:50～16:05 佐野雄一郎（科研製薬）  
科研製薬におけるイヌの環境エンリッチメントに関する取り組み
- 16:05～16:30 中村典子（協和キリン）  
イヌのストレス緩和を目指したトレーニング手法の活用検討
- 16:30～16:55 稲葉尚志（浜松ファーマリサーチ）  
カニクイザルのエンリッチメントトイについて  
—現状の運用・課題および新規トイの導入検討事例—
- 16:55～17:00 閉会のご挨拶

※閉会後に**静岡県立大学はばたき棟地下食堂**にて軽食付き懇親会を予定しております。

【参加資格】 当会会員 及び 賛助会員

- ・非会員の方は予めご入会頂き、参加申し込みの程宜しくお願い致します。  
年会費は1,500円です。入会される場合はホームページの入会案内をご覧ください。  
<<https://www.shizuoka-cara.com/入会案内/>>
- ・賛助会員は1機関3名まで参加可能とします（個人が正会員である必要はありません）。  
所属機関単位でのお申込みをお願い致します。

**【参加申し込み】**

- ・下記の企画担当委員までメールにてお申し込み下さい。
- ・可能な限り所属機関単位でとりまとめてお申し込みをお願いします。
- ・参加費：静岡実験動物研究会の会員および会員所属機関の学生は無料です。  
※懇親会に参加される方は、懇親会費 1,000 円（学生 500 円）を当日受付にてお支払いください。
- ・申し込み締め切り日：2024年7月19日（金）
- ・定員は特に設けません。

**【申し込みメール記入例】**

件名： **【静岡実験動物フォーラム 2024】** 参加申し込み

本文： 以下のとおり参加を申し込みます。

所 属：

参加者氏名：

Email アドレス：

電話番号：

懇親会： 参加／不参加

**【お申込み、お問合せ先】**

静岡実験動物研究会 企画担当委員 担当 金子 雪子

静岡県立大学薬学部

Email：[ykaneko@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:ykaneko@u-shizuoka-ken.ac.jp)

## ■ 令和 6 年度大会開催にあたって

静岡実験動物研究会 令和 6 年度大会大会長  
株式会社安評センター 竹原 広

会員各位におかれましては時下ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

来る令和 6 年 10 月 25 日（金）、クリエート浜松において静岡実験動物研究会令和 6 年度大会を開催いたします。第 51 回研究発表会では特別講演として日本獣医生命科学大学応用生命科学部教授の藤平篤志先生にご登壇いただき、「マウスの注射麻酔：3 種混合麻酔の特徴と議論が必要な点」をご講演いただく予定です。また、研究発表会は、研究成果を発表し、情報交換をおこない、新しい情報を得るとともに、会員同士の交流を深めることを目的として開催しております。発表済み・未発表を問わず、広く演題を募集いたしますので、多くの皆様の参加と発表を役員一同お待ちしております。この会で発表したことにより、その研究が大きく花開いたり、新たな方向に展開できるよう、お互いに刺激しあうことができたらと思っています。そして、35 歳未満の演者様は「林榮一賞」の受賞対象となります。どうか若い会員の皆さんもこの研究会を踏み台として大いに利用して下さい。

大会終了後には、研究に関する情報交換や親交の場として懇親の席を設けます。情報交換会には特別講演をいただく藤平先生にもご出席をお願いしておりますので、ご講演の内容に関して直接お話を伺うなど、またとない機会を十二分にご活用いただけますと幸いです。

昨年度大会に続き、県西部での開催となります。地元静岡の研究会には大きな学会にはない親しみやすさがあります。会員の皆様におかれましては、実験動物に携わる周囲の方々にお声掛けをいただき、是非とも多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

### 令和 6 年度大会開催案内

日時： 令和 6 年 10 月 25 日（金）

受付： 12:00～

総会： 12:30～

研究発表会： 13:00～

場所： クリエート浜松 2 階 ホール・21, 22 講座室

<https://www.hcf.or.jp/facilities/create/>

〒430-0916 浜松市中央区早馬町 2 番地の 1

◆JR 浜松駅北口から徒歩 10 分

◆遠州鉄道「遠州病院駅」東隣

◆遠州鉄道バス、「県総合庁舎」、「常盤町」バス停下車

参加資格：会員のみ。参加希望者は会員登録を参加締め切りまでに行ってください。

参加登録方法は後日、メールにて会員宛に配信いたします。

大会参加費：静岡実験動物研究会の会員は無料



## 概要

### ▼総会

- 令和6年度事業報告
- 令和6年度会計報告
- 令和7年度事業計画

### ▼特別講演

- マウスの注射麻酔：3種混合麻酔の特徴と議論が必要な点（仮題）
- 藤平篤志先生 日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 教授

### ▼研究発表会

※一般演題を募集しています。下記の演題募集要綱をご参照ください。

### ▼情報交換会

## 情報交換会

会員相互の親睦を深めるため、研究発表会后、ささやかながら情報交換会の開催を予定しております。奮ってご参加下さい。

- 日時 : 令和6年10月25日(金) 18時開催予定 2時間程度
- 場所 : はままつ地ビールレストラン マイン・シュロス
- 情報交換会参加費 : 4,000円(予定)

## ■ 第 51 回研究発表会演題募集

静岡実験動物研究会第 51 回研究発表会の一般演題を下記の要綱にて募集しますので奮ってご応募下さい。

35 才未満の発表者を対象とし、優秀発表賞（林榮一賞）の表彰もしています。

発表形式： 口演（発表 8 分、質疑応答 2 分）

※ 応募演題数によっては発表時間を変更させて頂く場合がございます。

スライド形式： MS-Power Point (ppt/pptx) Mac or Windows

募集要綱： ①演題名、②発表者氏名、③共同研究者名、④所属、⑤連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、⑥会員区分（会員／非会員）、⑦発表時（10 月 13 日）の年齢、⑧要旨（作成ソフトは可能な限り MS-Word をご使用いただき、A4 用紙 1 枚に作成下さい）。上記①～⑧を下記申し込み先に E-mail（メール添付）あるいは郵送にてお送り下さい。E-mail の件名は「静岡実験動物研究会演題申し込み（発表者氏名）」をお願いします。

応募締め切り： 2024 年 8 月 31 日

申し込み先： 〒437-1213 静岡県磐田市塩新田 582-2

株式会社安評センター

竹 原 広

TEL : 0538-58-3572

h-takehara@anpyo.co.jp



## ■ 会報掲載原稿提出のお願い

第 51 回研究発表会の発表内容を静岡実験動物研究会会報に掲載させていただきますので、発表者は下記要領に従って会報掲載原稿の作成および提出をお願いします。

<会報原稿作成要領>

- 1) 原稿の長さは、図表を含めて A4 刷り上り 2 ページを目処としております。1 ページあたり 2024 字を目安にして下さい。
- 2) 原稿の作成は①～④をご参照下さい。
  - ① 句読点は「.」、「,」を用いる。
  - ② 数字と単位の間には半角空白を挿入する（%の場合は空白なし）。  
例) 25 mm、55 mL、82%
  - ③ 図表の表題：図の場合は図の下に、表の場合は表の上に記述する。  
略語などの説明：図の場合は表題の下に、表の場合は表の下に記述する。
  - ④ 図表の文中での引用：句点付近では句点の前に記述する。  
例) 増加した (図 2).  
明らかとなった (Table 1).
- 3) その他体裁、引用文献の記載方法、刷り上りのイメージ等は、会報 45 巻 1 号 (2019) の一般抄録および巻末の投稿規程をご参照下さい。
- 4) 文章、図、写真、表は次のファイル形式で作成して下さい。  
文章： Microsoft Word(doc)あるいはテキスト(txt)ファイル  
図・写真： Microsoft PowerPoint(ppt)あるいは jpg ファイル  
表： Microsoft Excel(xls)、Word(doc)あるいは PowerPoint(ppt)
- 5) 文章中には、図・写真および表の挿入箇所を入れて下さい。文章中に図・写真および表を挿入した原稿を作成して頂いても結構ですが、刷り上りの書式に整えていただく必要はございません。
- 6) 演題抄録の末尾に著者プロフィールを掲載しますので、著者名、略歴、主な研究、抱負、趣味、座右の銘など簡略に記載願います (必須ではありません)。体裁は会報 45 巻 1 号 (2019) の一般演題抄録をご参照下さい。
- 7) 原稿の提出は、2024 年 12 月 27 日 (金) までをお願いします。
- 8) 原稿の提出は、原稿ファイルの E-mail 添付、原稿ファイルを保存した CD-ROM 並びに印刷された原稿のご郵送のいずれかでお受けします。
- 9) 原稿の送付および原稿に関するお問い合わせは下記までをお願いします。

静岡実験動物研究会 会報担当

〒437-1213 静岡県磐田市塩新田 582-2

株式会社安評センター

竹 原 広

TEL : 0538-58-3572

h-takehara@anpyo.co.jp